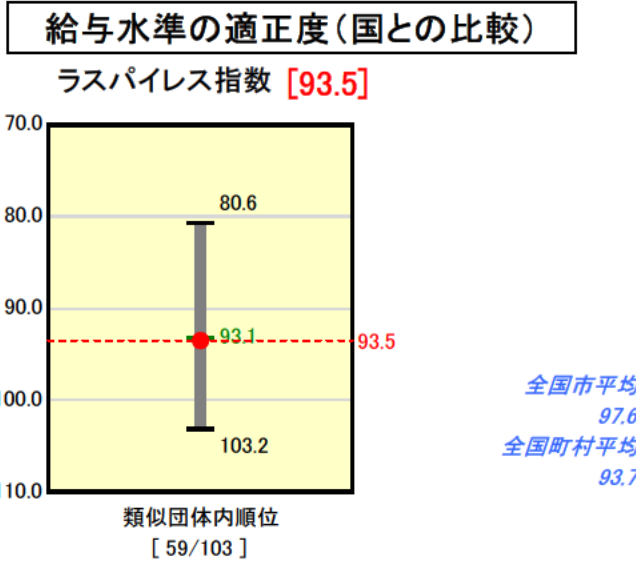
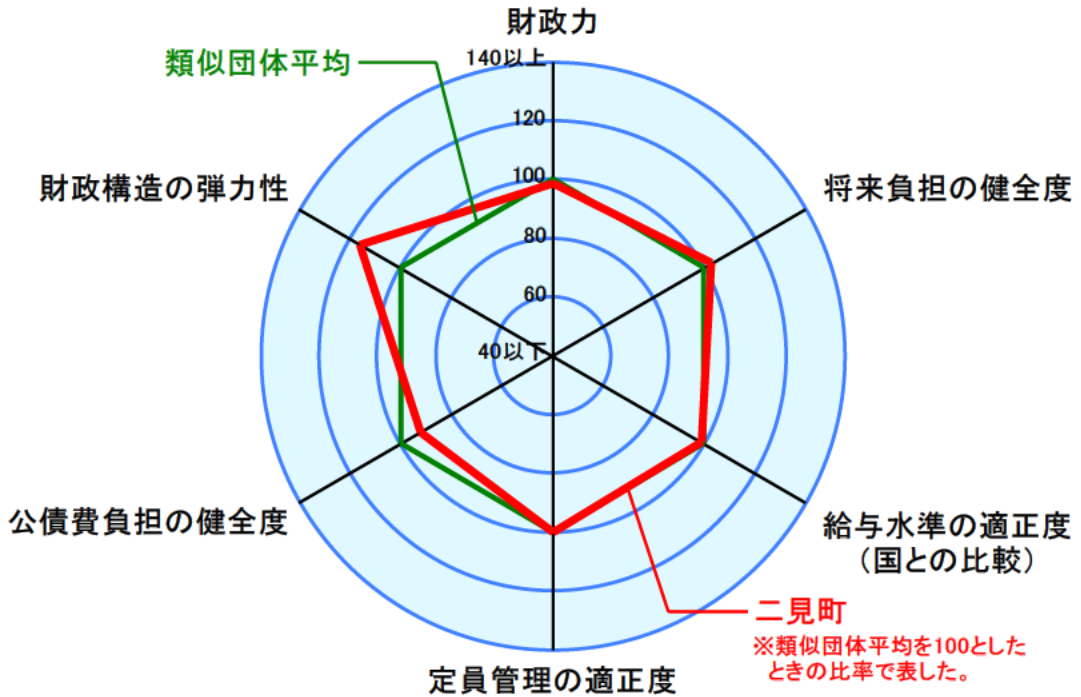
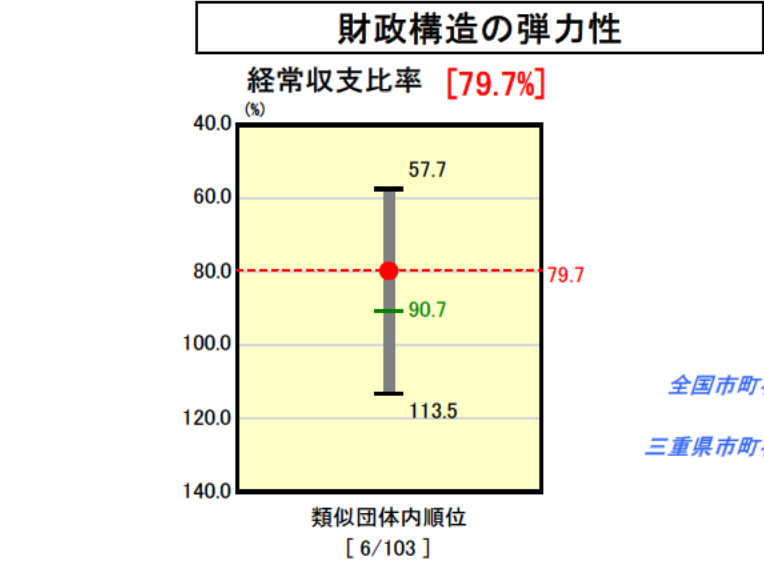
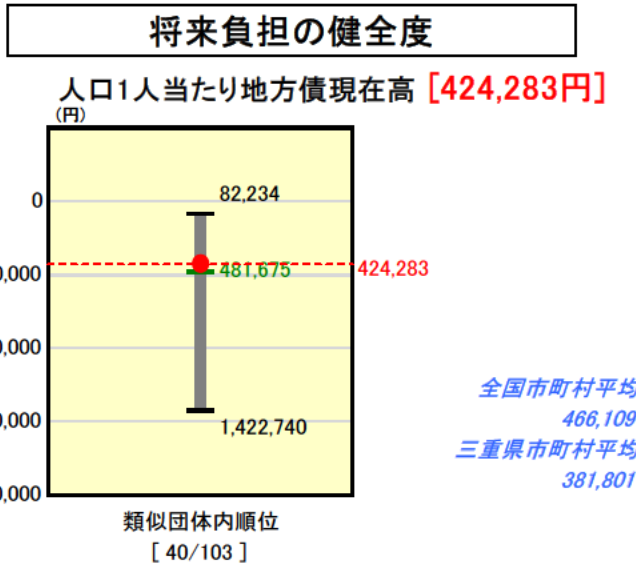
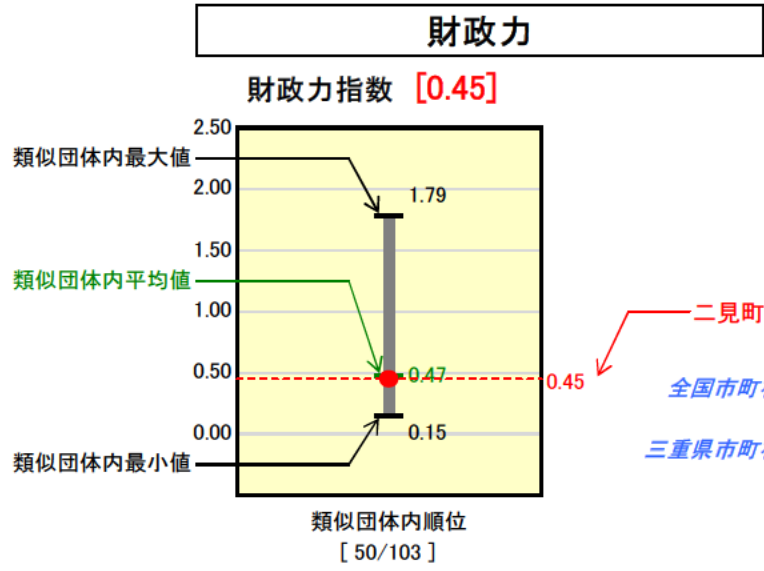


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 二見町

人口	9,307 人(H17.3.31現在)
面積	11.94 km ²
歳入総額	4,044,277 千円
歳出総額	3,888,348 千円
実質収支	67,072 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】町内に中心となる産業がないことにより、財政基盤が弱く、また景気低迷による個人・法人関係の減収等により、類似団体平均を0.02ポイント下回っている。
このため、退職者の不補充等による人件費の削減、経常経費の見直し、投資的経費の抑制などによる歳出の見直しとともに、歳入においては、税の徴収率の向上を図るなど、自主財源の確保に努める。
【経常収支比率】類似団体平均を下回っているが、比率は年々悪化している。職員数の削減、手当ての見直し等義務的経費の削減に努め、類似団体平均を上回らないよう、現在の水準を維持する。
【起債制限比率】平成16年度が起債の償還ピークとなったため、類似団体平均を0.3ポイント上回っているが、今後、新規地方債の発行の抑制等に努め、類似団体平均の水準を下回るよう努める。
【人口1人当たり地方債現在高】現在のところ類似団体平均をわずかに下回っているが、新規地方債の発行の抑制等により類似団体の平均を上回ることがないよう努める。
【ラスパイレス指数】類似団体平均をわずかに上回っている。今後も削減努力を行う。
【人口1,000人当たり職員数】全庁的な事務事業量の調査を行うとともに、新規の行政需要に対しても職員の配置転換によって対応し、今後も、行政サービスの低下がないよう配慮しつつ、計画的かつ適正な定員管理を行い、安易な増員を避けるよう留意していく。

